

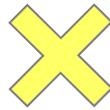
持続可能な開発目標（SDGs）に 関する経団連の取り組み状況

2017年5月25日

日本経済団体連合会 企業行動・CSR委員長
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 会長
二宮 雅也

経団連のSDGsに対する取り組み概況

- 2030年の未来社会を描いた「**経団連ビジョン**」において、イノベーションおよびグローバル化を、持続可能な経済成長の実現、地球規模の課題解決への貢献の重要な柱と位置づけ。これは、SDGsとも共通。
- 新たな経済成長モデルとして提唱した「**Society5.0**」を通じてSDGs達成に貢献。
- 更なる企業の取り組み推進に向け、SDGsの観点から「**企業行動憲章**」および「**実行の手引き**」を改定（2017年11月予定）。
- 関連団体の（公社）企業市民協議会（CBCC）において、海外ミッションの派遣、専門家からのヒアリング等を通じて、SDGsに関する情報を収集して発信。CBCC・経団連会員企業に対し、SDGsへの取り組みに関するアンケートを実施。



経団連ビジョン「豊かで活力ある日本」の再生

総合課題

1. 震災復興の加速化と新しい東北の実現
2. 東京オリンピック・パラリンピックの成功
3. 時代を牽引する新たな基幹産業の育成

個別の政策課題 (2020年と2030年の到達目標をそれぞれ明記)

1. 豊かで活力ある国民生活を実現する

- (1) 科学技術イノベーション政策の推進
- (2) 海外の活力の取り込み
 - ① 新たな通商戦略の構築
 - ② インフラシステムの海外展開の推進
- (3) 誰もが生き活きと働ける環境の整備
 - ① 多様な働き方の推進
 - ② 女性の活躍推進
 - ③ 若者・高齢者の活躍推進
- (4) ICTの利活用
- (5) 起業の促進
- (6) ジャパン ブランドの構築

2. 人口1億人を維持し、魅力ある都市・地域を形成する

- (1) 少子化対策の推進
- (2) 地域経済の発展・活性化
 - ① 都市・地域の活力発揮
 - ② 農業の構造改革
 - ③ 観光振興
- (3) 外国人材の活躍

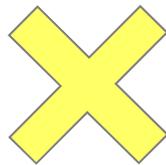
3. 成長国家としての強い基盤を確立する

- (1) 事業環境のイコールフットingの確保
 - ① 法人税改革
 - ② エネルギー政策の再構築
 - ③ 重要インフラ整備
- (2) 財政健全化
- (3) 社会保障・税一体改革
- (4) 金融・資本市場の活性化
- (5) 人材育成・教育再生・大学改革への取組み
- (6) 防災・減災、国土強靱化への取組み
- (7) 行政改革への取組み
 - ① 電子行政の推進
 - ② 広域経済圏の形成に資する道州制導入

4. 地球規模の課題を解決し世界の繁栄に貢献する

- (1) 環境・資源・水・エネルギー分野における貢献
- (2) 防災・減災対策における貢献
- (3) 健康・医療分野における貢献
- (4) 絶対的貧困・飢餓・疫病の撲滅への貢献

2



3

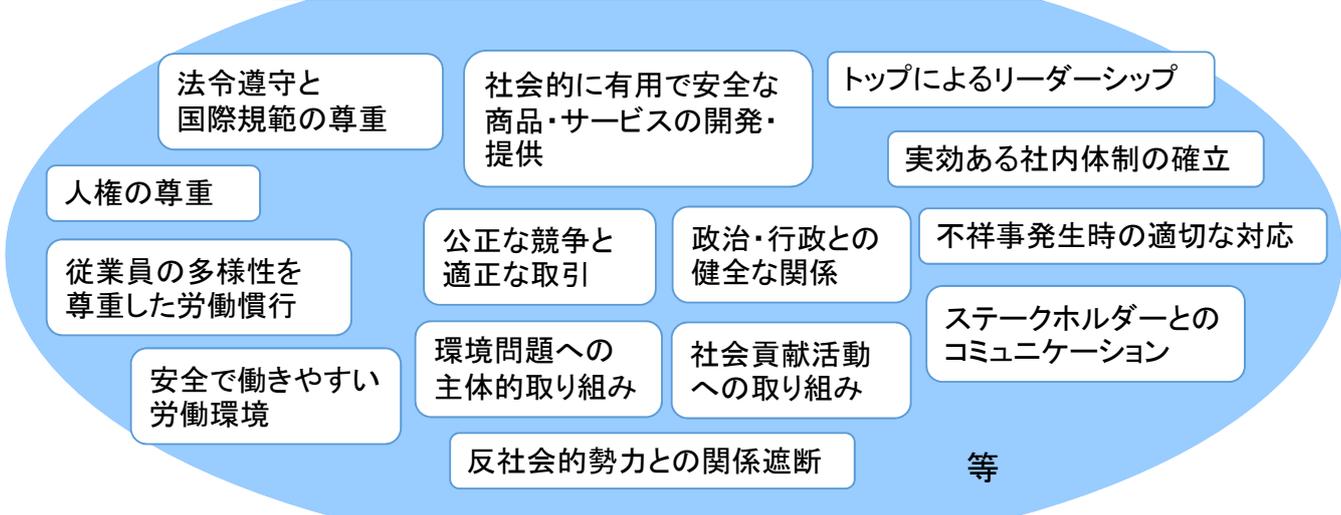
Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル
さらには、国連で掲げられた**SDGs**の達成にも大いに貢献するもの



企業行動憲章 for **SDGs**

- 企業が自主的に実践する企業倫理・CSRに関する原則
- 1991年 「企業行動憲章」制定
- 1996年 「実行の手引き」作成
- 2017年 **SDGs**等への対応に向けて改定予定

高い倫理観を持って社会的責任を果たす

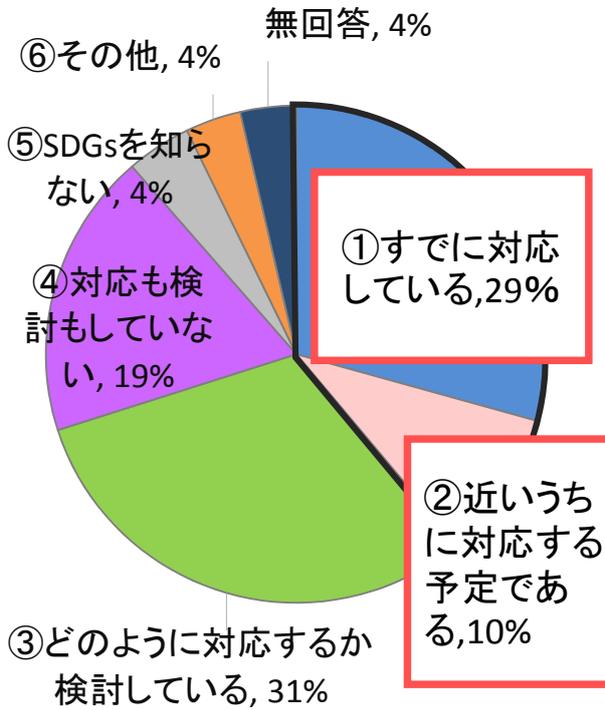


経済社会の発展、持続可能な社会の創造への貢献

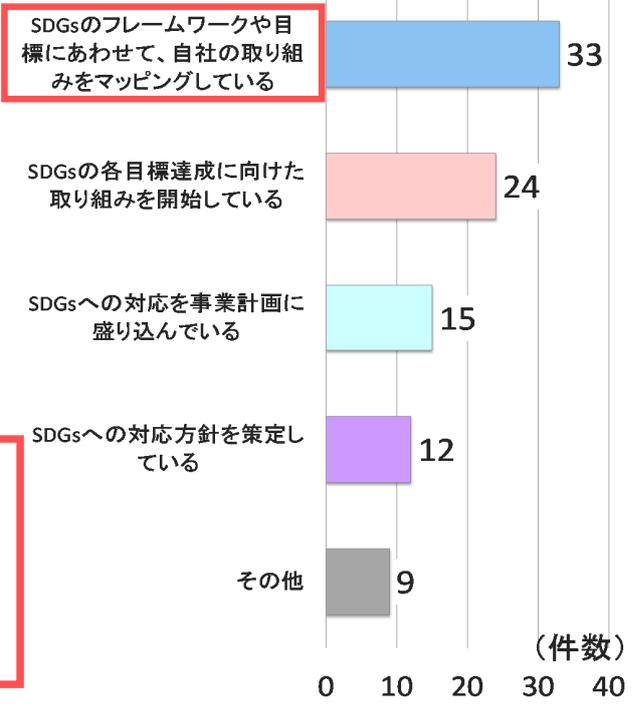
SDGsに関するアンケート調査結果①

- 公益社団法人 市民社会協議会 (CBCC) では本年2月、CBCCおよび経団連会員企業を対象に、「CSR実態調査」を実施。167社より回答を得た。
- 同調査では、各社のSDGsへの対応についても質問しており、結果は次の通り。

SDGsへの対応状況



具体的な対応内容

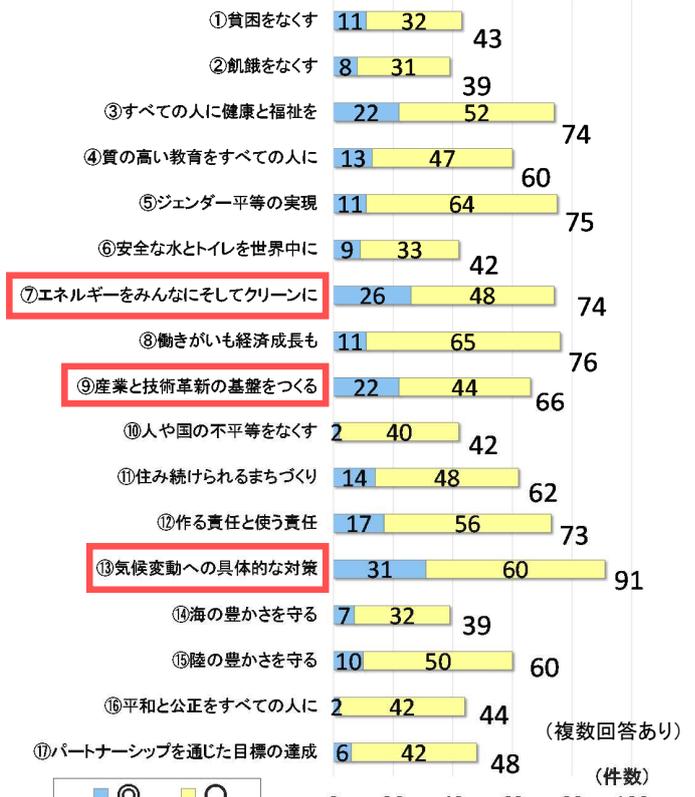


SDGsに関するアンケート調査結果②

SDGsに対応する意義



各目標への取り組み状況



※「◎」は最も優先する項目を1つ、「○」は当てはまる項目をすべて選んでいる。